

## 【本日のグループワークの目的】

- ① 地域の病床機能別の医療資源の状況について意見交換を行い、共通認識を深めること
- ② 意見交換にあたっては、定量的な基準適用後の病床機能の再分類結果を活用すること

## 〈意見交換項目〉

## 地域で必要な病床機能について

(具体的内容)

- 地域で必要な(不足する)医療機能は何か(回復期か、それ以外の医療機能か)
  - (1) 普段感じる地域で必要な(不足する)医療機能は何か。  
(現状の病床機能報告結果の比較)
  - (2) 定量的な基準適用後の再分類結果から見た必要な(不足する)医療機能

## 〈都における定量的な基準とは〉

- 都が定量的な基準を策定した趣旨は、地域の病床機能の状況に関係者が共通認識を持ち、自発的な病床の機能分化について議論が深まるためのきっかけとすること
- 定量的な基準は、各医療機関・病棟の個別の医療機能を決めつけるものではない。
- 各医療機関の診療報酬の選択に影響を与えるものではない。
- 必要に応じて更なる検討を行うこととする。

## 〈今年度策定した定量的な基準〉

- 基準検討のPOINT
  - ・ 【高度急性期・急性期】と【回復期・慢性期】を分ける基準とすること
  - ・ 病床機能報告の回答項目であること
  - ・ 病床機能報告回答時の各医療機関での活用を想定し、できるだけ単純、少数の項目であること。
- 設定した基準においては、ICUやCCU等のユニット、周産期医療を提供する病棟等は必ずしも本基準に依らないものとしている。